

2023年度児童発達支援自己評価表

8名/11名

		チェック項目	はい	いいえ	検討結果等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切であるか	4	4	利用メンバーによっては狭いことがあり、課題である4月からの新事業所は、スペースが確保できる見込み
	②	職員の配置数は適切であるか	8		利用人数、利用者の重症度に応じた職員数を配置できるよう努める
	③	生活空間は、障害の特性や医療ケア度に応じた配慮や安全確保が適切になされているか	8		新事業所では、一定、生活空間を区分して使用できるよう整備している
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	2	現在は、昼寝が必要な児とそうでない児が一緒に過ごしているので気を遣うが、新事業所では、改善される見込み
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		目標設定制度として実施している
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		要望があればできる限り努力している
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		ホームページで公表している
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	外部評価は実施していない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		職責に応じて外部研修を受講している
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8		複数の保育士・児童指導員で計画を立てている。

の 提 供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8		コロナ禍で制限があるが、季節の行事や風習にちなんだ活動となるよう工夫している。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8		送迎業務があり、なかなか事前の打ち合わせができない。来所後にはなるが、朝の会の中で、確認・情報共有していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	3	ほとんどの職員が送迎に出るため、打合せの時間を取ることが難しいが、帰りの会の中での報告や、記録の活用により共有に努める。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8		訪問看護、訪問リハ、学校等と情報交換し、連携して支援をおこなっている
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		必要に応じて、受診に同行し、主治医から医ケアに関する指示を受けるなどしている
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	医療ケア児が多く、感染予防のため社会的交流の機会はほとんど持っていない 近隣の地域子育て支援センターに出かけることがある
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	管理者、児発管が行政の委員会等の委員として参加 各種連絡会等へは、積極的に参加している
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8		

	③①	保護者に対して、医療ケアや摂食に関する助言等の支援を行っているか。	8		思いや話をお聞きし、その場で助言ができない内容の場合には、持ち帰って看護職員等から、アドバイスしてもらうようにしている。
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8		契約時及び変更があった都度、説明している
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8		
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談ののって適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8		
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	コロナ感染症の状況を見ながら、家族交流会を行う
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1	毎月、「いっばだより」を配布している
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8		
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	医療ケア児が多く、地域交流の機会はほとんど持っていないが、新事業では地域との連携を検討していく
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		毎月、内容を変えて緊急時の訓練を実施している
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	8		利用開始時に、医師指示書をいただいている
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	ヒヤリハット事例は必ず記録し、スタッフに回覧。回覧後は、ファイリングしている。
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		昨年10月、法人が運営する2事業所合同で、全職員を対象に虐待防止、身体拘束適正化の研修を実施した
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8		